

大腸がん検診を受けられる方へ

～ 自覚症状のないあなた 今こそ受けるときです ～

大腸がんは40歳から増え始めます

○早期の場合、治療の選択肢は多く、からだの負担も軽くすることができ、95%以上が完治と言われています。

○早期の大腸がんはほとんど自覚症状がないため**毎年**大腸がん検診を受けることが大切です！

死亡数* 2021年

男性 2位

女性 1位

*国立がん研究センターがん情報サービスがん統計より

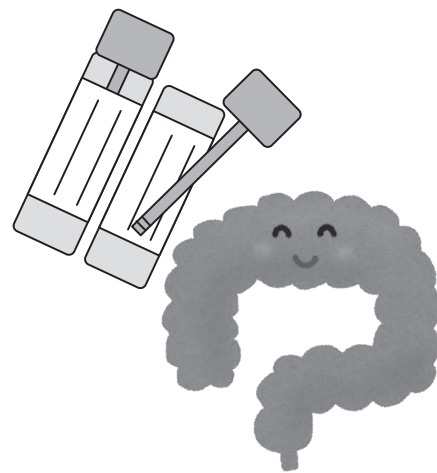
当協会では、消毒や定期的な換気などの感染予防対策を徹底し、安心して健診を受診していただけるための環境確保に努めています。

①大腸がんの検査とは？

- ・便の中に含まれているわずかな血液を調べます
- ・2日間採便することが有効です
- ・便の表面を**まんべんなくこすり**、容器に入れて提出するだけの簡単な検査です

②検診を受けるときの注意

- ・採便するときは容器の使用期限と取り方の説明書をご覧ください
- ・日にちを変えて2回取ってください
提出日の前々日から当日までの採便が理想です
- ・どうしても取れない場合は、提出日の2週間前から採便できます
- ・提出まで必ず冷暗所（4℃前後）で保存してください



③要精検と言われたら

- ・必ず医療機関で精密検査（内視鏡検査など）を受けましょう
- ・精密検査までが検診です

大腸がん検診Q & A

Q なぜ2回も便をとるの？

A 通常、便潜血は微量で目には見えません。がんからの出血は出たり出なかったりするため、2日分の便を採取します。

Q 陰性だから大腸がんは大丈夫だよね？

A 陰性でも大腸がんがないとは言えません。毎年、検診を受けることが大切です。また、便に血が混じる、下痢と便秘を繰り返すなどの症状がある場合には必ず医療機関を受診しましょう。

Q 痔の出血だと思うけど？

A 痔以外の大腸の病気による出血も考えられます。「痔だから陽性になった」とは思いこまずに必ず精密検査を受けましょう。